

週報



2016 年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう

2016 年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2016 年 活動指針

1. 理想家庭と心情共同体形成
2. 神氏族メシヤ活動強化
3. 二世圏活性化
4. 社会貢献と救国救世基盤造成

世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

加賀家庭教会

KAGA FAMILY CHURCH

教会長：石垣 重広

み 言

「新しい人生の出発」

5 人間が肉身生活を終えたのちには、第二の出生をします。これが死です。第二の出生をして、行く世界が正に霊界です。その世界に入っ、第三の父母である神様から宇宙全体を代表した愛が供給されます。理想的な愛が供給されるのです。ですから、霊界では統一されざるを得ません。死ぬ瞬間からは第二の空気世界を振り払って、新しい第三の愛の呼吸器官に連結されなければなりません。父母の愛、兄弟の愛を振り払って霊界に入り、結局は大宇宙の神様の本体と一つになった愛の世界に入ります。種が本体から出てきたので、実を結んで、また本体に戻らなければなりません。

6 人間が死ぬのは、肉身では制限された愛でしか愛せないからです。無限大の神様の真の愛の対象的実権をもととすれば、制限された肉身だけではできません。ですから、無形の霊にならざるを得ません。さらに、愛の理想を全天地に広げて実現するためです。ですから、死は苦痛の道ではなく、宇宙的真の愛を所有できる幸福の門を開く時間です。

死は、這って歩き回る地上世界から、ひらひらと飛び回って暮らすことのできる世界に移ることです。全宇宙を自分の舞台にして、「真の愛で楽しめる旅行者の資格をもち、そのような世界に入門するために死の道を行くのです。ですから、死ぬことは正に、新しく生まれることです。

7 私たちは、いつかは肉身を脱いで霊界に行かなければなりません。したがって、この世の中に生まれた私たちは、死を覚悟しなければなりません。また、善の自我を第二の「私」として永遠の世界に立てるためには、苦勞しなければなりません。母親の腹中で胎教を正しく受けてこそ、健康で善の赤ん坊が生まれるのです。この地上世界においての生活は、腹中での生活と同じです。ですから、神様の形状を模範として、神様の心情を模範として、神様の聖なる神性を模範として育たなければなりません。育ってまた命を懸けて越えていかなければなりません。

8 死は第二の出生なので、悲惨ではありません。アダムとエバが墮落していなければ、神様と共鳴圏で暮らしていたはずで、心と体が共鳴するというのです。それで、私たちが地上で愛を中心として生活するようになれば、霊界の愛と同じ波長基準になっているので、地上で暮らしながら霊的世界を感知することができます。

地上で父母から生まれて父母と共に生きながら父母から学んで地上生活を完成させるのと同じように、天上世界の愛の母体である神様を中心として生まれ変わり、天の父母と共に永遠の愛の世界で、内的五官を完成した神様の息子、娘として、神様の友として、神様の体として生きていくのです。ですから、死んでなくなってしまうわけではありません。死は第二の出生であり、有限な世界から無限の世界に行くときに境界線を突破するためのものであり、峠を越えるためのものなのです。